

「あなたの支援が必要です。」

ヘルプカード

障がいのある人には、自ら「困った」となかなか伝えられない人がいます。

「ヘルプカード」は、障がいのある人が普段から身につけておくことで、緊急時や災害時、困った際に周囲の配慮や手助けをお願いするきっかけをつくるカードです。



ちょっとした手助けが、障がいのある人の安心につながります。

配布場所 東浦町役場 障がい福祉課窓口
〒470-2192 東浦町大字緒川字政所20番地

障がいのある人が困っていたら…

- 「どうしましたか？」と声をかけてください。
- 相手に伝わっているか確かめながらゆっくり話しましょう。
- ヘルプカードの裏面に手助けしてほしい内容が記載されています。

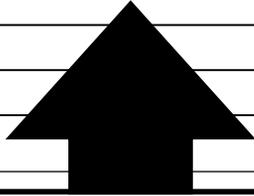


お問い合わせ先: 東浦町役場 障がい福祉課 TEL 0562-83-3111

ヘルプカードの記入方法

●私、こんなことで困っています。（自由記述）

私は耳が不自由です。手話が筆談でお願いします。



発行：東浦町

【苦手なこと】

- が不自由です。
- が苦手です。

【必要な支援】

- 手話が筆談でお願いします。
- ゆっくり簡単な言葉で説明してください。
- 私の代わりに電話をかけていただけませんか。

♥ 私の基本情報

●氏名 東浦 太郎 男・女

●生年月日 T・S・H 22 年 2 月 22 日

●住所 東浦町大字 緒川字政所20番地

●緊急連絡先 〇〇-△△△△

氏名 東浦 一郎 続柄（父）

電話番号 〇〇〇-△△△△-××××

連絡先名（株）〇〇商事

✚ 私の医療情報

●障がい名 身体障がい

●アレルギー 〇〇〇〇

●血液型（RH）+・-）A・B・O・AB

●飲んでいる薬 〇〇〇〇、×××

●かかりつけ病院 〇〇医院

●主治医 △△△ 科 〇〇 医師

災害が発生した場合...

- 通常的手段では必要な情報を得ることが困難。

→視覚障害者や聴覚障害者には、筆談や読み上げにより必要な情報を伝えましょう。

日常生活で困った場合...

- 発作でパニックを起こしてしまった。道に迷ってしまった。

→まず、簡単な短い言葉で優しく声をかけましょう。ヘルプカードを持っていたら、手助けしてほしい内容を確認して、できるだけ安全な場所で過ごせるようにしてください。

他にも、こんな場合があります...

- 内部障害や精神障害のために外見では健康に見えても、電車で立っているのがつらかったり、階段を昇るのがつらい。また、知的障害のために音やにおいに敏感。

→席を譲ってあげたり、混雑で緊張している様子を見たら、そっと見守ってください。